

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

| | |
|-------------------|--|
| 研究機関名 | 市立豊中病院 |
| 研究実施許可日 | 2024年3月12日 |
| 研究終了日 | 2024年6月30日まで |
| 研究の名称 | 閉鎖孔ヘルニアの病態及び治療法と予後についての全国調査研究 |
| 研究対象 | 当院を受診して閉鎖孔ヘルニアと診断された患者さん。 |
| 対象材料 | 診療記録 |
| 対象期間 | 2013年1月1日～2022年12月31日まで |
| 研究の目的意義 | 日本における閉鎖孔ヘルニアの病態(発症の原因やリスク)と死亡率、及び死亡に及ぼす因子(治療関連・非関連有害事象などの内容やその頻度)を明らかにすること。 |
| 方法 | 2013年1月1日～2022年12月31日までに当院で閉鎖孔ヘルニアと診断されて診察や整復・手術などの治療を受けた方を対象として、患者さんの背景(年齢・性別・体格、併存症の有無など)、閉鎖孔ヘルニアの状態(右・左・両側のうちどれか、嵌頓しているかなど)、治療内容(経過観察、還納、手術:1回で治すのか2回分けるのか・術式)、治療後の経過(合併症の有無、入院期間など)などを過去に遡って電子カルテに残っている情報を基に調べる。 |
| 個人情報の取り扱い | 研究実施に係る情報を取扱う際は、被験者の個人情報とは無関係の番号を付して匿名化を行い、対応表は作成しない。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者の情報を使用しない。 |
| 問い合わせ先 (研究責任者) | 市立豊中病院 消化器外科 鈴木 陽三 TEL 06-6843-0101 |